

地域医療特別演習VI

(Introduction to Community Medicine VI)

第6学年次(地域枠推薦学生対象)

【責任者/担当者】

〔兵庫医科大学〕平野 公通 臨床教育統括センター副センター長・卒後研修室長

【担当者】

〔医学教育センター〕小濱 華子 非常勤講師

【目的】

地域枠推薦入学学生について、卒前・卒後連携して地域医療の専門医を養成し、将来地域医療教育の指導医となる資質を涵養する。

【科目キーワード】

「地域医療 (community medicine)」「家庭医学 (Family Medicine)」

【到達目標(アウトカム)】

- 地域医療の現場で総合診療(家庭医学)を実践もしくはその補助ができる。
- 海外における家庭医療、総合診療の現場を見学し実習を行い、コミュニケーションがとれる。

【ディプロマ・ポリシーと授業科目の関連】

- ・安心・安全な医療に強い使命感と自律性を有し、優れた協調精神を持ってチーム医療の一員として社会の福祉に奉仕できる良医となるべき素養を有している。
- ・医療を取り巻く社会経済的動向を把握し、地域医療の向上に貢献するとともに、地域の保健・医療・福祉・介護および行政等と連携協力できる。
- ・人文社会科学を含む幅広い教養と国際性を身につけ、海外からの情報を積極的に利用できる語学力を有し、国際保健に貢献できる。
- ・人体や疾病に影響を与える社会的な要因や背景について理解し、支援扶助の社会的仕組みについて理解している。
- ・豊かな人間性と生命の尊厳についての深い認識を有し、人の命と健康を守り、社会の福祉に奉仕する医師としての職責を自覚し、地域並びに母校への帰属意識を有している。
- ・患者およびその家族の人権を守り、医師の義務や医療倫理を遵守するとともに、患者の安全を最優先し、患者の権利と生命の尊厳を守ることができる。
- ・人間の多様性を理解し、周囲の人々への温かい眼差しを持ち、共感できる豊かなコミュニケーション能力を有している。

- ・患者の痛み、苦しみ、悩みと機能障害を含め様々なハンディキャップを理解し、常に患者中心の立場に立つことができる。
- ・医学・医療の進歩と改善に資するために研究を遂行する意欲と生涯にわたり自己研鑽を続ける態度を有し、同僚・後輩への教育に労を惜しまない。
- ・患者の持つ様々な問題点を科学的かつ統合的に捉え、的確に判断し解決できる応用力と問題解決能力を有している。
- ・基本的な診察法、医療技術、救命救急法を修得しており、全身を総合的に診療するための実践的能力、ならびに医療安全と危機管理の能力を有している。
- ・人体の構造、機能および異常や疾病とそれらの原因、病態、診断、治療に関する基本的な知識ならびに様々な疾病に対する適切な治療法を身につけている。

【概要ならびに履修方法】

自由選択実習で地域医療または海外留学などを希望する場合は斡旋を行う。

【準備学修ならびにそれに要する時間】

派遣予定の地域の医療、特徴などを予習すること。時間は規定しない。

【成績の評価方法・基準】

欠席・態度不良の場合は進級評価に含める。

【学生への助言】

積極的で自主的な参加を歓迎する。

【フィードバック方針】

特に設定しない。随時質問に応じる。

【オフィスアワー】

特に設定しない。随時質問に応じる。

【受講のルール、注意事項、その他】

成績、語学力などが一定水準を満たし、本人が希望する場合は海外での実習も推奨する。一般学生対象の留学プログラムへの参加も可能である。優先はしないが、同一水準であれば配慮する。

【教科書】

特に設定しない。

【参考書】

特に設定しない。

【連絡先】

教育研究棟 3階 医学教育センター